

平成28年度 推薦入試試験問題(文学科 英語英文学専攻) 解答例

問 1 (30 点)

【採点のポイント】

- ・ 本文で述べられている和製英語を使用する上での問題点を的確に捉えているか。
- ・ 高校までに学習する程度の語彙力, および日本語表現能力があるか。
- ・ 字数制限を守っているか。

【解答例】

和製英語を使用することによって, 英語を母語とする人と会話をするとき, 誤ったコミュニケーションを引き起こすかもしれない。また軽率に和製英語をつくったり, 使用したりすることで, 日本における英語学習にマイナスの効果をもたらす可能性がある。

(117 字)

問 2 (70 点)

【採点のポイント】

- ・ 和製英語について自分の考えが明確に述べられているか。
- ・ 具体例が示されているか。
- ・ 文章が論理的に構成されているか。
- ・ 高校までに学習する程度の語彙力, および日本語表現能力があるか。
- ・ 字数制限を守っているか。

【解答例 1】

私は, 和製英語は軽率に使用すべきではないと思う。課題文によると, 和製英語は言葉のかたちを変えることによって, 言葉を短縮することによって, また言葉に違った意味を与えることによって作られるとある。和製英語は英語と日本語が接触した結果生み出された, 英語の一方言であると捉える考え方もあるようだ。

しかし, それらの言葉の中には, 英語を母語とする人には理解しがたいものも多々ある。和製英語を軽々しく使用することで, 英語学習者がその言葉をイギリスやアメリカで話されている英語と思い込み, 英語を母語とする人と誤ったコミュニケーションをしてしま

う可能性があると思う。また、マス・メディアが和製英語を頻繁に使うことには問題があると思う。課題文にはない例を挙げれば、「ナイター」は“night game”と言わないと英語話者には通じないし、「アバウト」の「おおまかでいいかげんなさま」の意味は英語話者に通じないだろう。さらに、「セレブ」は本来の“celebrity”（有名人）という意味からずれて「派手好きでお金を持っている人」を指しているように思う。

和製英語は日本語を話す者にとっては、簡明で表現豊かな言葉かもしれない。しかし、世界に出て英語を話したり書いたりすることを目指し、世界で通用する英語を学ぶつもりならば、誤解を生む可能性のある和製英語の使用には慎重になるべきだと考えている。
(600字:30字×20行)

【解答例2】

私は、和製英語を使用することは有益であると考えている。課題文にあるように、和製英語は英語と日本語が接触した結果、生み出された言葉である。日本語だけでは表現できないことを和製英語は伝えていると思う。例えば、「ゴールデン・ウィーク」と言うのと、「休日の多い週」と言うのでは、響きがまるで違う。「ゴールデン」という言葉には通常より多い休みを楽しみにしている日本人の気持ちが表出されているように感じる。和製英語を学ぶことで、日本人がどのように英単語を理解しているか、そしてどのように独自の言葉をつくっているか知ることができる。

課題文には、和製英語は、言葉のかたちを変えたり、言葉を短縮したり、言葉に違った意味を与えるなどしてつくられているとある。そのような成り立ちを勉強することで、言葉に対する考えを深めることができる。和製英語は日本語を話す者にとっては、簡明で表現豊かな言葉である。英語を母語とする人と誤ったコミュニケーションをしてしまう可能性はもちろんあるが、意思疎通がうまくいかなかったとき、それをきっかけにして、和製英語とイギリスやアメリカで話されている英語との違いをよく学ぶことで、どちらの言葉に対しても理解を深めることができると思う。

以上の理由から私は和製英語を積極的に使っていきたいと考えている。(573字:30字×20行)